

## 2-③ ○○地区の子どもたちに示したい大人のふるまい

■対象：幼児～中学生をもつ親 ■時間：60分程度 ■手法：カードワーク

**学習のねらい** 地域の子どもたちに対しての大人のふるまいを考えることで、大人（親）としての社会的な役割に気づく。

**準備するもの** 名刺大に切ったカード（コピー用紙でも代用可） 価値観記入カード 筆記用具  
ワークシート 音探し あめ 時計（ストップウォッチ）

| 時間  | 学習の流れ   | 留意点   | 準備                        |
|-----|---|---|---------------------------|
|     | <p><b>【はじめに】</b></p> <p>今日は、○○地区の子どもたちに示したい大人のふるまいについて一緒に考えていきましょう。<br/>その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>   |   |                           |
| 15分 | <p><b>【アイスブレイク】</b></p> <p>①音探し（親学プログラム P99）<br/>〔グループ分け〕</p> <p>②何でやねん（P98）</p> <p>③自己紹介</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本4人ずつのグループをつくる。</li> <li>・グループの雰囲気づくりにつなげる。</li> <li>・「地域の良さ」をテーマに自己紹介するとよい。</li> </ul>  | 音探し<br>あめ                 |
| 35分 | <p style="text-align: center;"><b>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</b></p> <p><b>【中心のワーク】</b></p> <p>①カードに考えや想いを記入する</p> <p>②カードを集めて中央におく</p> <p>③カードをひいて、選択する</p> <p>④最後に残したカードについて、想いを紹介し合い、話し合う</p> <p>⑤まとめ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚のカードには1つのことを記入し、できるだけ多く記入するように伝える。</li> <li>・状況に応じて、子どもたちに示したいふるまいが記入してあるカードを含めてもよい。</li> <li>・どのカードも大切なふるまいであることを確認し批判しない。</li> <li>・カードを残した理由、迷ったカードなどについて想いを出し合い、時間いっぱい話し合うように伝える。</li> <li>・時間に応じて、すべてのカードを見て、話し合うようにすすめる。</li> </ul> | カード<br>筆記用具<br>(価値観記入カード) |
| 8分  | <p><b>【ふり返りと分かち合い】</b></p> <p>①今後の子どもたちへのかかわり方について、気づきや考えをワークシートに書く</p> <p>②グループで発表し合う</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク1、ワーク2は両方書いてもよいし、片方だけでもよい。必要に応じて使い分けるとよい。</li> <li>・全体に広げることができれば、取り上げる。</li> </ul>  | ワークシート                    |
| 2分  | <p><b>【おわりに】</b></p> <p>いかがでしたか？ われわれ大人のふるまいが、地域の子どもたちの育ちに影響を与えていることは、少なからずあるはずですよ。<br/>これからも、○○地区の子どもたちを地域の大人みんなで育てていこう、今日みんなで考えた「地域の子どもたちに示したい大人のふるまい」を意識して、地域の子どもたちにかかわっていきましょう。</p> <p style="text-align: center;"><b>《講座の最後にルールとマナーを確認しましょう》</b></p> |   |                           |

## 2-③ ○○地区の子どもたちに示したい大人のふるまい

※ 名刺大のカードをグループ [基本 4 人グループ] に渡す。[各グループに 50 枚程度]

### ① カードに考えや想いを記入する (10分)



カードに「○○地区の子どもたちに示したい大人のふるまい」を考えて、思いついたこと・考えたことを記入してください。簡潔に、思いついたまま、できるだけ多くカードを書いてください。ただし、1枚のカードには1つのことを書いてください。

※例えば… [下記参照]

時間は、8分程度です。お願いします。

※ 例えば…

明るい笑顔で接する

明るい笑顔で、気持ちのよいあいさつをする

○ 1枚に1つのこと

× 1枚に複数のこと

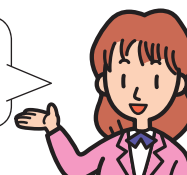
※ カードに書くことを思いつかないようであれば、下記のようなことを補助的に説明するとよい。

具体的な子どもたちとの生活場面を考えてみてください。例えば…

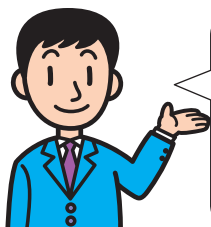
- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> すれ違ったり かかわったりする中で     | <input type="checkbox"/> 授業公開日 / 学校行事 / P T A 奉仕作業で |
| <input type="checkbox"/> スポ少・子ども会などで           | <input type="checkbox"/> 電車やバスなど 公共交通機関の中で          |
| <input type="checkbox"/> お店で [スーパー・飲食店 など]     | <input type="checkbox"/> 図書館・歴史館・美術館・公園などで          |
| <input type="checkbox"/> 地域の行事やイベントで           | <input type="checkbox"/> 地域のためになることをやっている           |
| <input type="checkbox"/> 明らかに危険なこと / 悪いことをしている | など  |

### ② カードを集めて中央に置く (1分)

全員のカードを1つにまとめ、トランプのように切りましょう。  
そして、書いてある方が見えないようにして、グループの中央に置いてください。



### ③ カードをひいて、選択する (10分 … 全てのカードがなくなるまで)



1人1枚ずつカードをひいてください。  
次のカードをひいた時、より「地区の子どもたちに示したい大人のふるまい」だと思う方を手元に残してください。どれも大切なカードですが、どちらか1枚に決めてください。  
選ばなかったカードは自分の前に裏返して置いてください。  
これをカードの山がなくなるまで繰り返してください。

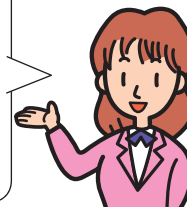
### ④ 最後に残したカードについて、想いを出し合い、話し合う (13分)

最終的に手元に残したカードはどんなカードですか？まずは、グループでお互いに見せ合しましょう。

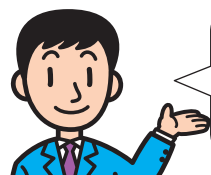
そして、なぜそのカードを残したのか、迷ったカードは何だったのか、理由や想いを出し合しましょう。

13分程度時間をとるので、時間まで、「地区の子どもたちに示したい大人のふるまい」について話し合いを深めてください。

※ 時間があれば、全てのカードを見て話し合ったり、別なグループのカードでカードワークを繰り返したりするとよい。



### ⑤ まとめ (1分)



それぞれグループのメンバーの理由や想いを聴き、どう感じましたか？  
それでは、今日の学習 [研修・講座] をふり返って、気づいたことや考えたことをワークシートに書きましょう。

2-③「〇〇地区の子どもたちに示したい大人のふるまい」ワークシート

# 〇〇地区の子どもたちに示したい大人のふるまい

ワーク1

参加されたみなさんの想いや気づきを聴いて、感じたこと・考えたことを書きましょう。



ワーク2

地区の子どもたちのよりよい育ちのため、今後親として、大人として、子どもたちにどうかかわっていけばよいか、気づいたことや考えたことを書きましょう。



|                                |  |
|--------------------------------|--|
| <p>地域の行事を楽しむ</p>               | <p>P T A 奉仕作業を<br/>がんばっているところ</p>      |
| <p>親子活動にはりきって<br/>参加する</p>     | <p>いろんなことに感謝する</p>                     |
| <p>地域や近所の方の<br/>悪口・文句を言わない</p> | <p>学校の先生を<br/>うやまう</p>                 |
| <p>電話の応対を<br/>ていねいに美しく!!</p>   | <p>大人みんなが<br/>“笑顔”に</p>                |
| <p>よその子も同じように<br/>かわいがる</p>    | <p>(時には)<br/>怖そうな顔<br/>(大人をなめるな!!)</p> |